

令和6年1月31日 30年中間貯蔵施設地権者会 会長 門馬 好春

昨年11月からの主な活動内容を第26回会報としてお届けさせて頂きました。

皆さまにはご家族を含めて、健康と安全を最優先とした生活をお願い申し上げます。

1.【第25回環境安全委員会】

11月29日リンクル大熊で第25回中間貯蔵施設環境安全委員会が開催、委員として作本副会長が出席しました。多くの委員から2045年の最終処分場選定等を含めこの事業の終了に向けた取り組み計画に具体性がない事を指摘のうえ、早急に事業終了に向けた工程表などの具体策を示すよう強く環境省に申し入れました。

2.【第11回当会への環境省説明会】

11月30日リンクル大熊で第11回環境省説明会が開催されました。

門馬会長から環境省に伊藤信太郎環境大臣宛て早急なる事業終了に向けた取り組みを求めた要望書を提出しました。環境省説明会の後、会員の皆さまから汚染土の搬出先など一番の被害者である地権者の意向を踏まえた環境省の取り組みが必要である等、多くの指摘、質問等が出されました。「HPに環境省送付文書掲載」

3.【東電との営農賠償見直しへの取り組み】

昨年7月東電の事実を反した回答書「(3年分は約束していない)2017年以降の特定した期間に限定していない」は約束違反です。これに対して各専門家のご指導を受け東電が約束した各証憑を添え、10月13日東電に要求書を送付しました。

12月30日東電から反論もなく7月の回答が全てとの再回答がありました。これを受け翌日31日東電に当方提出証憑に反論できないことを認めた再回答であることから、今後も約束違反の撤回を求めていくことを記載した文書を送付しました。

4.【お知らせ】 ～2月7日は環境省との交渉です・後日 HP・FB 等でご報告～

①湯本古滝屋「原子力災害考証館」の当会の展示期間が当面の間延長となりました。

関西の皆さまから「中間貯蔵施設の情報は殆ど流されない」今後も広報に努めます。

②門馬会長がこどけん通信12月号に「中間貯蔵 環境省の仕打ち」掲載されました。

③門馬幸治顧問が1月21日・22日福島民報1面「デジタル版含む」に掲載されました。

なお、③こどけん通信と④福島民報は別添資料をご覧ください。<m()m>

④門馬会長が3月13日第129回ふくしま復興支援フォーラムで報告します「ズーム」

⑤門馬会長が2月下旬から3月上旬東京新聞の私の東京物語に連載10回されます。

5.【写真など】 ～今回のご報告を含めた当会の活動は当会HPに掲載中～

「第25回中間貯蔵施設環境安全委員会」「第11回当会への環境省説明会」

説明会資料等は同委員会HPから閲覧可 12月1日同説明会が福島民報に掲載

